

# 憲法審「歴史」巡り白熱

## 衆院

### 「侵略」「東京裁判」違い鮮明

衆院憲法審査会が16日開かれ、各党代表が「前文」と第10章「最高法規」などについてそれぞれの見解を示した。自民党などが「歴史」や「伝統」を前文に盛り込むよう提起したことから、議論は「侵略」の定義など歴史認識の問題に発展。憲法改正をめぐる基本認識で、政党間の違いの大きさを改めて浮き彫りにした。

【念佛明奈】

自民党の保岡興治氏は「我が国のこれまでの歴史、伝統、文化に根差した固有の価値を踏まえたものであるべきだ」と述べ、現在の前文が「一人の和を大切

#### 憲法前文に関する各党の主な主張

自民党	我が国の歴史、伝統、文化に根差した固有の価値を踏まえるべきだ。現在の前文はまったくの翻訳調で違和感がある
民主党	大局上立つての議論が必要。我が国の歴史、伝統、文化とは具体的に何人何組の個人や集団の歴史観、価値観を押しつけることにならないか
新日本会議	前文に国民統合の象徴としての天皇を元首として明記し、歴史と文化に誇りを抱き、よき伝統を保つことをうたう
公明党	前文の平和的生存権の思想は唯一の被爆国として加える項目があるとすれば「基本的人権の尊重」だ
みんなの党	世界に誇れる歴史、魅力ある文化や共生の理念などを有していることを示し、国民が誇りと愛着を感じる内容に改めらるべきだ
共産党	9条の戦争放棄や戦力の不保持は前文の戦後国際社会の原則、平和に記すべきだ。国際的に認められているべき具体的な内容を盛り込むべきだ
生活の党	国を形づくるべき具体的な内容を盛り込むべきだ

を前文に盛り込んでい  
る。  
これに対し、民主党  
の三日月大造氏は「特  
定の人々や集団の歴史  
観や価値観を国民に押  
しつけることにならな  
いか」と疑問を呈し  
た。  
歴史認識をめぐって  
は議論が白熱。自民党  
の西川京子氏が「占領  
下で作られた憲法は本  
来、破棄すべきだ」と  
主張したのに対し、共  
産党の笠井亮氏が「侵  
略戦争をして断罪さ

れ、東京裁判判決を受諾する状況の中で憲法ができた」と指摘。戦後、国際社会に日本が受け入れられる過程で憲法が果たした役割を強調した。  
だが、西川氏はさらに「侵略戦争と決めたのは東京裁判のみだ。『侵略』の定義自体、学説でははっきりしていない」と安倍晋三首相の最近の国会答弁をなぞる形で反論。占領軍が主体となった憲法の制定過程に疑問を呈した。  
このほか天皇や国会議員、公務員が憲法を尊重、擁護するよう義務づけた99条についても審査。自民草案が国民にも「憲法尊重」を義務づけていることに関連し、民主党の辻元清美氏は「憲法は権力を縛る最高規範。国民に憲法を尊重させるという規定は入れるべきではない」と反発した。